



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社
 コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 清久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 丸岡 和広

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,819	14.6	1,198	25.9	1,218	36.3	840	122.7
29年3月期第1四半期	5,950	5.0	951	0.1	894	12.0	377	35.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 931百万円 (283.1%) 29年3月期第1四半期 243百万円 (58.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	34.37	
29年3月期第1四半期	15.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	49,504	37,157	75.1
29年3月期	49,347	36,740	74.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 37,157百万円 29年3月期 36,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		14.00		20.00	34.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	2.8	5,200	0.7	5,200	1.1	3,300	3.0	134.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 日本ピラーメキシコ株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	25,042,406 株	29年3月期	25,042,406 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	594,679 株	29年3月期	594,557 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	24,447,758 株	29年3月期1Q	24,448,128 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、底堅い企業収益を背景に設備投資や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が継続しています。また、世界経済も、先進国を中心に緩やかな回復傾向が続いておりますが、地政学的リスクの高まりや、欧米の金融緩和政策のペース、英国のEU離脱に向けての動向等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、産業機器分野向けシール製品は、船舶向けや石油プラント向け製品が低調で、売上高は前年同期を下回りました。一方、電子機器関連事業の半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は半導体製造装置市場が引き続き堅調であり、建築業界向け免震関連製品も順調であったことから、売上高は前年同期比増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高68億19百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益11億98百万円（前年同期比25.9%増）、経常利益12億18百万円（前年同期比36.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億40百万円（前年同期比122.7%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は23億32百万円（前年同期比6.5%減）、電子機器関連事業は44億63百万円（前年同期比30.1%増）、その他部門（不動産賃貸等）は23百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、産業機器関連事業は3億30百万円（前年同期比14.3%減）、電子機器関連事業は9億1百万円（前年同期比58.9%増）、その他部門（不動産賃貸等）は10百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産及び有形固定資産の増加等により前期末比1億56百万円増の495億4百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比1億34百万円減の20億13百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益及びその他有価証券評価差額金の増加等により前期末比4億17百万円増の371億57百万円となり、自己資本比率は75.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、現時点において決算発表時（平成29年5月12日）に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,060	13,788
受取手形及び売掛金	8,175	7,682
電子記録債権	3,968	3,786
有価証券	112	112
商品及び製品	541	926
仕掛品	1,122	1,234
原材料及び貯蔵品	572	726
その他	1,285	1,262
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	29,832	29,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,502	8,930
機械装置及び運搬具(純額)	1,373	1,382
土地	4,819	4,959
その他(純額)	798	847
有形固定資産合計	15,493	16,119
無形固定資産	107	98
投資その他の資産		
投資有価証券	3,587	3,455
その他	345	337
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	3,913	3,774
固定資産合計	19,514	19,992
資産合計	49,347	49,504
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,948	4,217
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	537	537
未払法人税等	1,052	284
賞与引当金	728	367
資産除去債務	258	267
その他	2,467	3,132
流動負債合計	9,193	9,007
固定負債		
長期借入金	1,410	1,275
退職給付に係る負債	1,515	1,546
資産除去債務	58	58
その他	429	459
固定負債合計	3,413	3,339
負債合計	12,607	12,347

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	25,475	25,801
自己株式	△465	△465
株主資本合計	35,166	35,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,369	1,478
為替換算調整勘定	271	246
退職給付に係る調整累計額	△68	△59
その他の包括利益累計額合計	1,573	1,664
純資産合計	36,740	37,157
負債純資産合計	49,347	49,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,950	6,819
売上原価	3,894	4,249
売上総利益	2,055	2,570
販売費及び一般管理費	1,103	1,371
営業利益	951	1,198
営業外収益		
受取配当金	35	38
その他	8	10
営業外収益合計	43	48
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	89	4
固定資産処分損	8	21
その他	1	1
営業外費用合計	101	28
経常利益	894	1,218
特別損失		
減損損失	21	22
災害による損失	325	—
特別損失合計	347	22
税金等調整前四半期純利益	547	1,196
法人税、住民税及び事業税	128	243
法人税等調整額	41	112
法人税等合計	169	356
四半期純利益	377	840
親会社株主に帰属する四半期純利益	377	840

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	377	840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	108
為替換算調整勘定	△76	△25
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	△134	91
四半期包括利益	243	931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	931

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

日本ピラーメキシコ(株)は、段階的に増資をした結果、当社の特定子会社に該当することとなりました。

当第1四半期連結会計期間より、当該子会社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,493	3,431	5,925	24	5,950	—	5,950
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	676	695	1,371	4	1,375	△1,375	—
計	3,169	4,127	7,297	28	7,326	△1,375	5,950
セグメント利益	385	567	953	10	963	△12	951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△13百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては21百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,332	4,463	6,795	23	6,819	—	6,819
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	650	954	1,604	4	1,608	△1,608	—
計	2,982	5,417	8,400	27	8,427	△1,608	6,819
セグメント利益	330	901	1,232	10	1,242	△44	1,198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△44百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の調整額△44百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては22百万円であります。